

# 隻奪

## 合理化・既得権剝奪と許さぬ！

佐倉支部は、8月20日に検査分科、25日に検修分科の取場集会を開催し、政府・自民党・国鉄当局による労働運動解体にむけた合理化の強行実施、取場既得権全面剝奪攻撃の激化に対し、これと対決して闘う意志統一を行った。

### 作業の見直しを実施する

#### 8/20 検査分科取場集会

検査分科取場集会は8月20日、30名の検査係が参加して開かれた。鈴木会長の挨拶に続いて、8月7日に行われた「津田沼、幕張、佐倉三支部検修・検査合同会議」で確認された取場実態の見直し等の取り組みについて、能勢副支部長、今瀬書記長から報告され討論を行った。

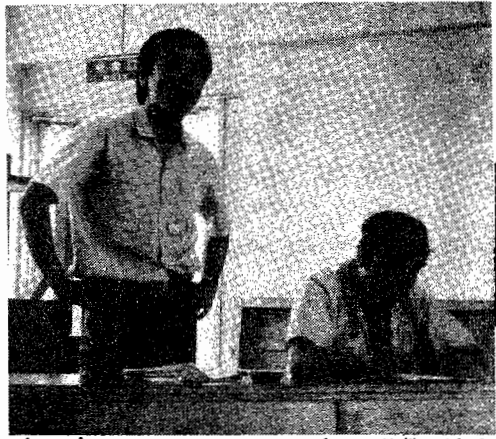
とりわけ国鉄当局の「緊急11項目実施にむけた合理化の強行は、佐倉支部的にみても「57・11ダイ改」での貨物削減に加え、将来的に佐倉杵築区の大巾縮小をも企画し

このかきつけられてきている。さらに、こうした合理化の実施は、「取場規律の厳正」をもてずるやニマル生・既得権剝奪攻撃を不可欠とするものであり、参加した組合員から「交Aのない日の草むしりの指示」や「区長以下、取場の監視体制の強化」などの意見が出された。

検査分科取場集会は作業の見直しをはかり、当局につけ入るスキを与えず、合理化をはね返す組織体制を確立していくことを確認した。

### 幕張支部検修の闘いと経験交流行

#### 8/25 検修分科取場集会



能勢副支部長と今瀬書記長(左) 執行部先頭に闘争体制構築へ!

8月25日の検修分科取場集会は、40名の組合員が参加して開催された。支部を代表して今瀬書記長から、「57・11へむけての闘い」の真剣な討論によっていい答えを出して

ほしい」との挨拶を受け、本部・林特別執行委員から「検査・検修分科の合同にむけた取り組みについての報告を受けた。

ついで、検修合理化に対し取場からの反撃体制を確立するためのモデル支部として、作業見直しをはじめとする抵抗闘争を闘っている幕張支部との具体的交流の一環として滝口幕張支部書記長からの報告と講演を受けた。

滝口氏は、オ一に、「国鉄攻撃の概要」を具体的にしめし、国鉄労働運動解体攻撃としての「緊急11項目



当局的御用組合「本部土屋一政と鉄労分子を追いつめて、佐倉支部二三名は石実史の主張として奮闘している。

を許してはならないこと、オ二に、「千葉局の動き」として、攻撃の具体的内容と佐倉杵築区の展望について、オ三に、「どう闘うか」について、オ全体の力関係を変えるために三里塚と連帯して闘うこと、

②取場の力関係を堅持するために「作業の見直し」など、とり組むこと。③内部の裏切り者「動労」本部「革マル」を許さないこと、を訴えた。

検査係・検修係の一致協力で、攻撃をはね返そう！

集会は最後に、能勢副支部長から「当局の攻撃を打ち破るために作業の見直しを実施する」8.20検査分科取場集会決定の報告と、検修の仲間への協力要請が行われ、「57・11ダイ改」・検修下回りをはじめとする合理化をはね返していくことを全体で確認して終了した。

# 検査・検修分科取場集会がとる

臨調・行革粉碎！ 三里塚ジェット闘争勝利！

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！